



鶴見区民会議は、誰でも自由に参加できる話し合いの場です。話し合いから、うるおいがあり、心安らぎ、また活力のある地域社会づくりのアイデアが生まれます。

編集発行 鶴見まちづくり推進会議
承認 鶴見区 第5号

高めよう地域力、盛り上げよう地域活動

平成 25年11月6日（水）鶴見公会堂で、第2回区民会議を開催しました。3つの分科会に分かれて、それぞれのテーマについて話し合い、その後の全体会で、各分科会の内容を発表しました。



★第1分科会「地域活動の担い手について」

＜こんな意見がありました＞

- ◇各地区の情報交換ができて良かった。
- ◇活動の担い手が少ないのが悩み。
- ◇参加しやすいよう、土日活動しています。
- ◇子どもを通じて大人にも来てもらっています。

自治会町内会の現状を、参加した町会長さんたちに紹介していただきました。「役員の仕事は大変だが、夏祭りなど住民に大変喜ばれる行事もたくさんあり楽しいこともある」「団塊の世代は退職後一息つきたいと思う方が多く、すぐに役員を引き受けてもらうのは難しい」「マンション・アパートの自治会町内会への加入率は、大家さんの自治会町内会に対する意識に大きく影響される」「地域の支えがあったから、これまで一生懸命仕事ができる。退職後は地域への恩返しと思い会長職を引き受けた」等の意見がありました。その他、勤め人が多い地域では行事や打ち合わせを極力土日にしたり、子ども会の行事を通じて大人にも地域にかかわってもらっているところもありました。自治会町内会の一番の課題としては、やはり若い人にもっと入ってもらい、地域の担い手になっていただきたい、という話がありました。

★第2分科会

「地域の活性化：区民と行政の連携」

＜こんな説明・意見がありました＞

- ◇地域活動を支援する補助金があります。
- ◇ 大事なことは、肩肘張らずに、小さな関係を一つずつつくっていくこと。



最初に、区役所から地域活動の支援体制や「元気アップ事業補助金」などの募集について説明があり、地域の課題解決のための窓口が色々あることを参加者に理解していただきました。次に、実際に補助金を活用した活動事例として「生麦避暑地」の紹介がありました。この活動は、3.11の震災をきっかけに始まった、地域で協力し合って節電しようというものです。最初は100人くらいで始めた活動ですが、今では1,000人を超える参加者と50万円くらいの収入がある活動になりました。活動を始めた人からは「世のため人のため地域を活性化したいというようなことは、考えない方がいい。そういうことを言って肩肘を張るとだいたい失敗する。大事なことは小さな人間関係を一つずつつくっていくこと」と話があり、活動の仕組みや内容について様々な意見や質問がありました。



★第3分科会「福祉分野での地域活動： 地域での見守り・支え合い」

＜こんな意見がありました＞

- ◇民生委員だけでなく、町ぐるみの活動を。
- ◇個人情報保護の関係で、名簿作りは工夫が必要。
- ◇日頃の付き合いや、世代間の交流も大事。

最初に「北寺尾ひびき町会」の取組が紹介されました。民生委員だけでなく、保健活動推進員や老人会も一緒に活動していること、新しく高齢者が引っ越してきたときは町会長から連絡を受けて訪問をしていること、何か起こったときは町会長に相談し、民生委員だけでなく町ぐるみで取り組めるようにしていることなどの話があり、その後意見交換が行われました。「活動に必要な対象者名簿の作成が、個人情報保護の問題から難しい」「新しいマンションや若い世代は自治会に加入しないケースが増え、災害時の安否確認が困難」「いざというときは隣近所の力が大事だが、日頃の付き合いが乏しい」「地域の支え合いは世代を超えて行われる必要があるが、世代間に壁がある」などの意見が出されました。また、参考になりそうな取組として、個人情報カードを封入して緊急時に開封するという町会独自の緊急連絡簿を作っている事例や、連絡網にメールやラインも使って若い世代とコミュニケーションを図ろうとしている事例等が参加者から紹介されました。

★全体会

＜あいさつ＞

鶴見まちづくり推進会議 推進委員会 佐藤信男 委員長

鶴見まちづくり推進会議は、鶴見区を「やさしさとゆとりが実現できる活力ある街」「誰にも誇れる街」にすることを目的に3つの部会で様々な活動をしています。区民会議部会では、毎年テーマを定め、区民同士で活発な議論を交わしています。本日の話し合いをもとに、地域の活動がますます盛んになればと考えております。

鶴見まちづくり推進会議 区民会議部会 小山和雄 部会長

6月に開催した区民会議では、NHKの人気番組「難問解決！ご近所の底力」のチーフディレクターを担当していた黒川敬氏に「きっとアナタが役に立つ」と題して講演をいただき、本日は3つの分科会にわかれて地域活動について考える機会を持ちました。本日の区民会議が、皆さんのより良い地域活動のために、少しでも役に立つ場であれば幸いです。



＜各分科会からの発表＞

分科会ごとに、出された意見をまとめて発表しました。

＜講評＞ 征矢雅和 鶴見区長

本日は各分科会で、貴重なご意見を直接伺っていただきました。皆様のご意見を大変貴重なものと受け止め、出来るところから区の施策へ反映させてまいりたいと考えています。昨年の区民会議では、防災について区民の皆さんの様々な取組の紹介があり、今年度から区役所では「共助のための防災への取組支援」事業を開始して16団体に補助金を交付しました。今後とも、区民の皆さんと顔の見える関係づくりを築きながら、協働による地域づくりを進めてまいります。

平成26年度「鶴見区民会議」を開催します！

詳細については、広報よこはま鶴見区版やホームページなどでお知らせします。

【問合せ】 鶴見区役所 広報相談係

〒230-0051 鶴見区鶴見中央3-20-1

電話：510-1680 FAX：510-1891